

珠洲市復興計画（案）に係る修正箇所一覧 第3回策定委員会→第4回策定委員会

※ふまえ→踏まえ、関し→関する 等の表記ゆれの修正は除く

表紙、1. 基本的な考え方～4. 基本方針・施策・事業一覧

頁	箇所	変更点	変更理由
－	表紙	サブタイトルを追記 ～魅力ある最先端の復興～	有識者武内和彦理事長の意見
	基本方針4の表題	これまでの取り組みを活かした魅力ある地域の再生 →自然と文化を活かし、これまでの取り組みを発展させた魅力ある地域の再生	有識者武内和彦理事長の意見
13	基本方針3 生産性の向上を図るなりわいの再建 説明文	追記 本市はゼロカーボンシティを表明している自治体であることから、2050年までの脱炭素社会実現を目指す我が国において期待されている再生可能エネルギーの開発と、地域の農林水産業の振興を共存させるため、里山・里海としての景観、生物文化多様性、脱炭素を全て同時に実現できるゼロカーボン農林水産業の実現化を目指し、新たな地域複合産業（再生可能エネルギー×農林水産業）の構築に努めます。	有識者武内和彦理事長の意見
16	基本方針4 自然と文化を活かし、これまでの取り組みを発展させた魅力ある地域の再生	追記 また、地区ごとに集落域として独立しつつも、相互に密接に連携し、珠洲の多様な自然と人びとの生活と文化を将来に継承します。	有識者武内和彦理事長の意見

※施策、事業名の修正は以下で示す。

5. 事業内容・タイムライン

基本方針1 より強靱で安全な、災害に強い地域づくり

頁	大施策	中施策	事業	変更点	変更理由
35	1-3 危機管理対応の検証と充実	(6) 防災DXの推進	ICTを活用した避難経路等の情報伝達や平時における市民の健康状態の把握、高齢者の情報などの把握、情報共有体制の構築など	説明文に追加 統合型GISを活用して、関係機関や住民との迅速な情報共有を可能にします。	有識者大河原久和パートナーの意見
36	1-4 被災者への支援の充実	(3) 避難所の生活環境の向上	生活サービス及び福祉サービスの確保	事業説明の追記 また、要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する者）に対して、必要となる福祉サービスにつなげるような体制の構築に努めます。	第3回委員会 北澤委員の発言を受け修正
39	1-6 スマート生活の実現	(1) マイナンバーカードの活用	いしかわIDとの連携で、市民の避難状況の把握や平時における県・市・民間事業のデジタルサービスの利便性向上	事業、事業内容、タイムラインを追記	有識者大河原久和パートナーの意見
40	1-6 スマート生活の実現	(5) 住民のデジタルリテラシーの向上	デジタルサービスの認知や利用促進のための環境整備	中施策、事業、事業内容、タイムラインを追記	有識者大河原久和パートナーの意見

基本方針2 暮らしとコミュニティの再建

頁	大施策	中施策	事業	変更点	変更理由
42	2-1 暮らしと住まいの再編	(5) 被災建物の公費解体の促進	被災建物の公費解体の促進	事業内容を追記 また、古民家の保存・活用を広げるため、石川県と連携し、被災古民家を活用した支援者宿泊施設等の整備支援に努めるとともに、関係団体と連携した現地住宅相談会等を実施します。 タイムラインに事業を追記 被災古民家を活用した支援者宿泊施設等の整備支援	有識者坂茂代表の意見

基本方針3 生産性の向上を図るなりわいの再建

頁	大施策	中施策	事業	変更点	変更理由
60	3-3 農林水産業の再建	(1) 地域の生業再生	担い手の確保、先駆的な技術を活用した生産体制の強化、農林水産物の消費・利用拡大	事業内容の追加 また、ゼロカーボン農林水産業の実現化を目指すため、新たな地域複合産業の構築を支援し、既存の農林水産業との競合を避けつつも、再生可能エネルギー開発（風力、太陽光、バイオマス、小水力）や観光開発などとの相乗効果を目指します タイムラインに事業を追加 新たな地域複合産業の構築支援	有識者武内和彦理事長の意見

頁	大施策	中施策	事業	変更点	変更理由
68	3-6 観光産業の再建	(1) 珠洲の魅力づくり	自然歩道（ロングトレイル）の整備	事業・タイムラインの追加 復興の象徴として、海岸隆起などのジオ（大地）的な視点も取り入れながら、本市の豊かな自然や風土に触れ、魅力を体験することができる自然歩道（ロングトレイル）を整備し、環境学習の推進や交流人口の拡大につなげます。	第3回地区意見交換会（日置）糸矢区長会長の意見 有識者武内和彦理事長の意見

基本方針4 自然と文化を活かし、これまでの取り組みを発展させた魅力ある地域の再生

頁	大施策	中施策	事業	変更点	変更理由
73	4-1 移住・定住の促進	(2) 多様な働き方に対する支援	多様な働き方に対する支援	事業内容の修正 仕事（テレワーク）等 →仕事（テレワーク、本市外からのスポットワーク）等	有識者大河原久和パートナーの意見

基本方針5 DXの推進による「つながる社会」の実現

頁	大施策	中施策	事業	変更点	変更理由
82	1-3 危機管理対応の検証と充実	(6) 防災DXの推進	ICTを活用した避難経路等の情報伝達や平時における市民の健康状態の把握、高齢者の情報などの把握、情報共有体制の構築など	説明文に追加 統合型GISを活用して、関係機関や住民との迅速な情報共有を可能にします。	有識者大河原久和パートナーの意見
84	1-6 スマート生活の実現	(1) マイナンバーカードの活用	いしかわID」との連携で、市民の避難状況の把握や平時における県・市・民間事業のデジタルサービスの利便性向上	事業、事業内容、タイムラインを追記	有識者大河原久和パートナーの意見
84	1-6 スマート生活の実現	(5) 住民のデジタルリテラシーの向上	デジタルサービスの認知や利用促進のための環境整備	中施策、事業、事業内容、タイムラインを追記	有識者大河原久和パートナーの意見
88	4-1 移住・定住の促進	(2) 多様な働き方に対する支援	多様な働き方に対する支援	大施策、中施策、事業、事業内容、タイムラインを追記	有識者大河原久和パートナーの意見